

中華人民共和国

主要データ

国名〔英名〕	中華人民共和国 [People' s Republic of China]
面積(km ²)	9,596,961
海岸線延長(km)	14,500
人口(百万人)	1,343.2
人口密度(人/km ²)	140.0
GDP(百万US\$)	7,991,738
一人当りGDP(US\$)	5,899
主要鉱産物：鉱石	銅、鉛、亜鉛、タングステン、錫、モリブデン、アンチモン、マグネシウム、希土類
主要鉱産物：地金	銅、鉛、亜鉛、アルミニウム、錫、アンチモン、マグネシウム
鉱業管轄官庁	国土資源部、工業情報化部、国家発展改革委員会
鉱業関連政府機関	中国有色金属工業協会、中国稀土産業協会
鉱業法	鉱業資源法
ロイヤルティ	なし
外資法	外商投資産業指導目録
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	環境保護法
鉱業公社・民間企業	(国有中央企業) 中国アルミ業(Chinalco)、中国五鉱集団(Minmetals)、中国冶金科工集団(MCC)など
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源保護、環境汚染対策から年間採掘総量を国土資源部が管理 ・ 資源輸出抑制策として、輸出税、輸出量割当制度 ・ 資源の安定確保を目指し、海外進出 ・ 産業構造調整のため、専業鉱種を超えた企業再編
2011年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「レアアース産業汚染物質排出基準」の公布、2012年から基準未達成企業への輸出枠留保 ・ 資源税の大幅引き上げ ・ レアアース輸出枠を軽希土及び中重希土に分け管理

1. 鉱業一般概況

供給サイドでは中国が生産をほぼ独占するレアース、タングステン、アンチモンなどのレアメタルの生産及び輸出動向が、需要サイドではほとんどの金属資源で中国が世界の消費国となっていることからその消費動向が、それぞれの市況に大きな影響力を有する。

(中国企業の財務状況)

中国有色金属工業協会加入企業73社(内訳：銅・ニッケル21社、アルミ20社、鉛・亜鉛18社、タングステン他14社)の主要業務収入は11,788.60億元(対前年比26.29%増)、主要業務コストは10,574.95億元(対前年比26.03%増)で、損失控除後の利益は404.13億元(対前年比16.57%増)であった。73社中、赤字企業は前年より1社減って11社、その損失額は32.53億元(対前年比139.22%増)であった。赤字企業のうち、7社はアルミ企業でその損失額は15.82億元(対前年比124.84%増)、3社は鉛・

亜鉛企業でその損失額は 16.68 億元(対前年比 160.47%増)、残り 1 社は銅・ニッケル企業であった。

(鉱業投資の状況)

固定資産投資(実績ベース)は 4,773.47 億元(対前年比 34.64%増)であった。そのうち鉱山プロジェクトへは 956.81 億元(対前年比 26.03%増)で、鉛・亜鉛 250.84 億元(対前年比 23.31%増)、銅 228.31 億元(対前年比 60.59%増)、アルミ 74.42 億元(対前年比 53.15%増)。精練プロジェクトへは 2,194.16 億元(対前年比 48.06%増)で、電解アルミ及びアルミナ 685.41 億元(対前年比 57.08%増)、銅 316.62 億元(対前年比 37.10%増)、鉛・亜鉛 224.21 億元(対前年比 5.57%減)。加工プロジェクト 1,622.50 億元(対前年比 24.41%増)であった。

2. 鉱業政策の主な動き

- 2011 年 1 月 19 日 国土資源部 資源の保護及び合理的利用のため、希土類 11 か所及び鉄鉱石 2 カ所を「国家指定鉱区」に指定
- 2011 年 2 月 18 日 国務院「第 12 次 5 カ年重金属汚染総合防止計画に関する意見」を公表し、2015 年までに重点地域の重金属汚染物排出量を 2007 年比 15%減とする目標
- 2011 年 3 月 13 日 環境保護部「希土類産業汚染物質排出基準」を公表
- 2011 年 4 月 1 日 財政部、国家税務総局 資源税大幅引き上げ
- 2011 年 5 月 10 日 国務院「レアアース業界の持続的かつ健全な発展に関する若干の意見」を公表
- 2011 年 5 月 20 日 商務部、税関総署 希土類合金(税関番号 7202999100 希土類元素含有量が重量ベースで 10%以上の合金鉄)の輸出割当管理へ組込
- 2011 年 6 月 1 日 国家発展改革委員会「2011 年版産業構造調整指導目録」を発表(2011 年 4 月 25 日)、タングステン・モリブデン・錫・アンチモンの新規採掘及び拡張、希土類の採掘・選別・製錬・分離及び酸化アンチモン生産を制限
- 2011 年 6 月 23 日 国家発展改革委員会「2011 年版輸入奨励技術及び製品目録」を発表、銅(金属量 20%以上)、鉛(金属量 55%以上)、亜鉛(金属量 40%以上)の各精鉱を輸入奨励対象に
- 2011 年 8 月 1 日 工業情報化部他関係 6 部署「全国レアアース生産秩序特別整理活動に関する通達」を発表、12 月 31 日までの間、鉱山及び製錬分離企業の生産秩序整理、購入販売に関わる違法行為の取り締まり強化
- 2011 年 10 月 28 日 国務院「資源税暫定条例」を改正、希土類が単独分類に
- 2011 年 11 月~12 月 国土資源部、財政部 鉱物資源の節約及び総合利用に関する特別検査実施
- 2011 年 12 月 9 日 国務院「2012 年輸出暫定税率表」を改訂 2012 年 1 月 1 日より、プラセオジウム、イットリウム、酸化プラセオジウム(以上新規 25%)、塩化ネオジム、塩化プラセオジウム、塩化イットリウム、炭酸ネオジム、炭酸プラセオジウム、炭酸イットリウム(以上新規 15%)、ランタン化合物、テルビウム化合物、ジスプロシウム化合物、プラセオジウム化合物、イットリウム化合物、ネオジム化合物(以上新規 25%)
- 2011 年 12 月 24 日 国家発展改革委員会、商務部「外資系企業投資産業指導目録(2011 年改訂版)」を公布し、2012 年 1 月 30 日から施行。投資制限産業として、採掘業の中にリチウム鉱及び硫化鉄鉱の採掘・選鉱並びに塩湖水精製を追加
- 2011 年 12 月 26 日 商務省「2012 年第 1 回レアアース輸出枠」を発表。軽希土類及び中・重希土類に分け管理。環境保護基準に達しない企業については、配分枠を留保。

2012年1月10日 工業情報化部「非鉄金属産業第12次5カ年発展計画」を発表。産業構造の改善、資源保障能力の引上げ、企業技術の革新、重金属汚染対策、省エネ排出物削減などの目標を掲げる。

2012年より、これまで年1回3月に国土資源部が通知する「レアアース等採掘総量規制指標」が、数回に分け通知されることとなり、対外的に未公表となった。また、工業情報化部が通知する「レアメタル指令性生産計画」も同様に、年数回に分け通知され、対外的に未公表である。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 1-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
銅(千t)	961.4	1,155.9	1,267.2	9.6
鉛(千t)	1,360.3	1,851.5	2,358.3	27.4
亜鉛(千t)	3,091.5	3,699.6	4,308.3	16.5
ニッケル(千t)	81.1	79.6	89.8	12.8
錫(千t)	72.4	83.6	93.4	11.7
アンチモン(千t)	95.9	114.8	128.0	11.5
鉄鉱石(万t)	88,017.1	107,155.5	132,694.2	23.8

(出典：中国有色金属工業協会、国家統計局)

(2) 主要金属地金生産量

10 鉱種の非鉄金属生産総量は、対前年比 18.04%増の 3,438.29 万 t であった。内訳は、銅 519.69 万 t(対前年比 14.63%増)、電気アルミ 1,806.17 万 t(対前年比 11.53%増)、鉛 464.77 万 t(対前年比 10.68%増)、亜鉛 522.19 万 t(対前年比 1.12%増)、ニッケル 18.52 万 t(対前年比 8.10%増)、錫 15.61 万 t(対前年比 4.49%増)、アンチモン 19.01 万 t(対前年比 1.42%増)、マグネシウム 66.06 万 t(対前年比 1.04%増)、スポンジチタン 6.11 万 t(対前年比 11.87%増)である。他に水銀が含まれ生産量は 1.49 千 t(対前年比 5.80%減)であった。

表 1-2. 金属地金生産量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
銅(千t)	4,109.5	4,573.5	5,196.9	14.6
アルミ(千t)	12,845.9	16,194.5	18,061.7	11.5
鉛(千t)	3,707.9	4,199.4	4,647.7	10.7
亜鉛(千t)	4,356.6	5,164.2	5,221.9	1.1
ニッケル(千t)	164.7	171.3	185.2	8.1
錫(千t)	134.4	149.4	156.1	4.5
アンチモン(千t)	165.7	187.4	190.1	1.4
マグネシウム(千t)	500.8	653.8	660.6	1.0
スポンジチタン(千t)	61.5	54.7	61.1	11.9
粗鋼(万t)	56,784.2	62,665.4	68,327.5	9.0

(出典：中国有色金属工業協会、国家統計局)

(3) 主要金属地金消費量

表 1-3. 金属地金消費量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
銅(千t)	7,085.8	7,385.4	7,914.6	7.2
アルミ(千t)	14,300.2	15,854.5	17,628.7	11.2
鉛(千t)	3,924.9	4,170.8	4,662.4	11.8
亜鉛(千t)	4,817.9	5,350.2	5,469.9	2.2
ニッケル(千t)	563.5	489.3	713.1	45.7
錫(千t)	149.0	152.8	180.8	18.3

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2012)

(4) 主要金属輸出入量

地金輸入量は、銅 283.54 万 t(対前年比 3.0%減)、鉛 0.66 万 t(対前年比 69.3%減)、亜鉛 34.80 万 t(対前年比 7.5%増)、アルミ 22.50 万 t(対前年比 2.1%減)であった。一方輸出量は、銅 15.63 万 t(対前年比 303.5%増)、鉛 0.61 万 t(対前年比 73.4%減)、亜鉛 4.64 万 t(対前年比 7.5%増)、アルミ 8.19 万 t(対前年比 57.7%減)であった。輸出入総額は、史上最高の 1,606.77 億元(対前年比 33.52%増)で、そのうち輸入額は 1,175.15 億元(対前年比 20.91%増)、輸出額は 431.62 億元(対前年比 52.70%増)であった。

表 1-4. 金属地金輸出入量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
銅(千t)	72.9	38.7	156.3	303.5	韓国、シンガポール、日本
アルミ(千t)	45.9	193.5	81.9	-57.7	韓国、日本、香港
鉛(千t)	23.0	23.1	6.1	-73.4	タイ、台湾、韓国
亜鉛(千t)	29.2	43.1	46.4	7.5	日本、マレーシア、インド
ニッケル(千t)	33.5	53.2	32.3	-39.3	韓国、香港、日本
錫(千t)	0.6	0.7	1.2	71.8	シンガポール、日本、イラン
鉄(万t)	24.0	71.0	87.2	22.8	日本、韓国、ベトナム

(出典: 中国有色金属工業協会、税関総署)

(5) 主要金属輸入量

表 1-5. 精鉱中含量・地金輸入量

鉱種(千t)	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
銅精鉱	6,132.3	6,468.1	6,375.5	-1.4	モンゴル、トルコ、カザフスタン
銅地金	3,185.2	2,922.1	2,835.4	-3.0	チリ、日本、インド
アルミ精鉱	19,691.9	30,069.6	44,844.9	49.7	インドネシア、インド、マレーシア
酸化アルミ	5,140.7	4,312.2	1,880.5	-56.4	豪州、インドネシア、ジャマイカ
アルミ地金	1,496.1	229.6	225.0	-2.1	ロシア、豪州、インド
鉛精鉱	1,604.8	1,603.8	1,444.4	-10.0	ペルー、米国、豪州
鉛地金	157.3	21.5	6.6	-69.3	韓国、豪州、日本
亜鉛精鉱	3,850.9	3,240.5	2,936.1	-9.3	豪州、ペルー、カナダ
亜鉛地金	669.5	323.4	348.0	7.5	豪州、ナミビア、カザフスタン
ニッケル精鉱	16,420.9	25,007.4	48,055.7	92.4	フィリピン、インドネシア、ロシア
ニッケル地金	243.0	181.5	212.5	17.1	ロシア、豪州、カンダ
鉄鉱石(万t)	62,778.0	61,863.0	68,625.0	10.9	豪州、ブラジル、インド

(出典: 中国有色金属工業協会、税関総署)

4. 鉱山・製錬所状況

表 2-1、2-2 に主な鉱山・製錬所を示す。鉱山、製錬所毎の生産量、品位等のデータは公表されていない。

表 2-1. 中国の主な銅・鉛亜鉛鉱山

鉱山名	所有企業名	鉱種
安慶銅鉱	銅陵有色金属集团公司	銅
冬瓜山銅鉱	銅陵有色金属集团公司	銅
德興銅鉱	江西銅業集团公司	銅
永平銅鉱	江西銅業集团公司	銅
城門山銅鉱	江西銅業集团公司	銅
大紅山銅鉱	雲南銅業股份有限公司	銅
銅録山銅鉱	大冶有色金属公司	銅
銅鉱峪銅鉱	山西中条山有色金属公司	銅
新疆阿捨勒銅鉱	新疆阿捨勒銅業股份有限公司	銅
獲各琦銅鉱	北京西蒙銅産勘查有限責任公司	銅
玉龍銅鉱	西部銅業股份有限公司	銅
紅透山銅鉱	中国有色集团	銅
青海瑪沁德銅鉱	紫金銅業集团股份有限公司	銅
内蒙古烏努格山銅鉱	中国黄金集团中金地質有限公司	銅
雲南迪慶羊拉銅鉱	雲南迪慶銅業開發有限責任公司	銅
紫金山金銅鉱	紫金銅業集团股份有限公司	銅
黒竜江多宝山銅鉱	紫金銅業集团股份有限公司	銅
雲南普朗銅鉱	雲南銅業集团公司	銅
甲瑪銅多金属銅鉱	西藏華泰龍銅業開發有限公司	銅
拜仁達堰銀多金属銅鉱	内蒙古銀都銅業有限責任公司	鉛・亜鉛
東升廟銅業有限責任公司	甘肅建新公司	鉛・亜鉛
内蒙古東升廟銅業有限責任公司	由巴彥淖爾華澳銅業化工集团有限公司、河南豫光金鉛集团有限公司ほか	鉛・亜鉛
巴彥淖爾紫金有色金属有限公司	紫金銅業公司	鉛・亜鉛
蘭坪金頂鉛亜鉛銅鉱	雲南蘭坪金鼎亜鉛有限公司	鉛・亜鉛
会澤鉛亜鉛銅鉱	馳宏亜鉛股份有限公司	鉛・亜鉛
昭通鉛亜鉛銅鉱	馳宏亜鉛股份有限公司	鉛・亜鉛
雲南華聯亜鉛インジウム股份有限公司	雲南華聯亜鉛インジウム股份有限公司	鉛・亜鉛
錫鉄山鉛亜鉛銅鉱	西部銅業集团公司	鉛・亜鉛
成縣畢家山鉛亜鉛銅鉱	甘肅省成州銅業集团公司	鉛・亜鉛
西成鉛亜鉛銅田	白銀有色金属有限責任公司	鉛・亜鉛
湖南宝山鉛亜鉛銅鉱	湖南有色股份集团	鉛・亜鉛
黄沙坪鉛亜鉛銅鉱	湖南有色股份集团	鉛・亜鉛
康家湾鉛亜鉛銅鉱	水口山有色金属有限責任公司	鉛・亜鉛
佛子衝鉛亜鉛銅鉱	佛子衝鉛亜鉛銅鉱	鉛・亜鉛
連平県大尖山鉛亜鉛銅鉱	連平県大尖山鉛亜鉛銅業開發有限公司	鉛・亜鉛
凡口鉛亜鉛銅鉱	深圳中金嶺南有色金属股份有限公司	鉛・亜鉛

表 2-2. 中国の主な銅・鉛亜鉛製錬所

製錬所名	所有企業名	鉱種
金昌冶煉廠	銅陵有色金属集团公司	銅
金隆銅業公司	銅陵有色金属集团公司	銅
張家港 合銅業	銅陵有色金属集团公司	銅
赤峰金劍銅業公司	銅陵有色金属集团公司	銅
貴溪冶煉廠	江西銅業集团公司	銅
雲銅冶煉廠	雲南銅業股份有限公司	銅
金峰銅業	雲南銅業股份有限公司	銅
昆鵬銅業	雲南銅業股份有限公司	銅
清遠雲銅	雲南銅業股份有限公司	銅
金川冶煉廠	金川集团有限公司	銅
山東祥光冶煉廠	山東祥光銅業公司	銅
大冶冶煉廠	大冶有色金属公司	銅
東營方園冶煉廠	東營方園有色金属公司	銅
寧波金田	寧波金田銅業公司	銅
煙台鵬	煙台鵬 銅業有限公司	銅
金升有色	金升有色金属公司	銅
山西中条山有色金属公司	山西中条山有色金属公司	銅
巴彥淖爾飛尚銅業公司	巴彥淖爾飛尚銅業公司	銅
白銀有色金属公司	白銀有色金属公司	銅
上海大昌銅業公司	上海大昌銅業公司	銅
上海鑫冶銅業公司	上海鑫冶銅業公司	銅
葫蘆島有色金属集团公司	葫蘆島有色金属集团公司	銅
広州珠江銅廠	広州珠江銅廠	銅
包頭華鼎銅業公司	包頭華鼎銅業公司	銅
富春江冶煉廠	富春江冶煉廠	銅
重慶冶煉廠	重慶冶煉廠	銅
大無縫建昌銅業公司	大無縫建昌銅業公司	銅
河南豫光金鉛集团有限公司	河南豫光金鉛集团有限責任公司	鉛・亜鉛
河南金利鉛業集团	河南金利鉛業集团	鉛・亜鉛
濟南市万洋冶煉有限公司	濟南市万洋冶煉有限公司	鉛・亜鉛
河南安陽市豫北金鉛有限責任公司	河南省安陽市豫北金鉛有限責任公司	鉛・亜鉛
株洲冶煉集团股份有限公司	株洲冶煉集团股份有限公司	鉛・亜鉛
第四、八冶煉廠	水口山有色金属有限責任公司	鉛・亜鉛
郴州宇騰化工有限公司	郴州宇騰化工有限公司	鉛・亜鉛
郴州市金貴有色金属有限公司	郴州市金貴有色金属有限公司	鉛・亜鉛
巴彥淖爾紫金亜鉛冶煉廠	紫金鉱業公司	鉛・亜鉛
金峰中色庫博紅燁亜鉛業有限公司	中国有色金属建設有限公司ほか	鉛・亜鉛
內蒙古興安銀鉛冶煉廠	內蒙古興安銀鉛冶煉廠	鉛・亜鉛
陝西東嶺冶煉總公司	陝西東嶺集团	鉛・亜鉛
商洛冶煉廠	陝西八一亜鉛業	鉛・亜鉛
白銀有色金属公司	白銀有色金属公司	鉛・亜鉛
中冶葫蘆島有色金属集团公司	中国冶金科工集团	鉛・亜鉛
雲南馳宏亜鉛ゲルマニウム有限公司	雲南馳宏亜鉛ゲルマニウム有限公司	鉛・亜鉛
金鼎亜鉛業二冶煉廠	雲南蘭坪金鼎亜鉛有限公司	鉛・亜鉛
雲南祥雲飛龍実業公司	雲南祥雲飛龍実業公司	鉛・亜鉛
雲南羅平亜鉛電股份有限公司	雲南羅平亜鉛電股份有限公司	鉛・亜鉛
雲南縣南方有色冶煉有限責任公司	雲南縣南方有色冶煉有限責任公司	鉛・亜鉛
韶関冶煉廠	深圳中金嶺南有色金属股份有限公司	鉛・亜鉛
安徽華鑫鉛業集团有限公司	安徽華鑫鉛業集团有限公司	鉛・亜鉛
徐州春興合金有限公司	徐州春興合金有限公司	鉛・亜鉛
江西金德鉛業股份有限公司	江西金德鉛業股份有限公司	鉛・亜鉛



図 1. 中国の主な銅、鉛・亜鉛鉱山

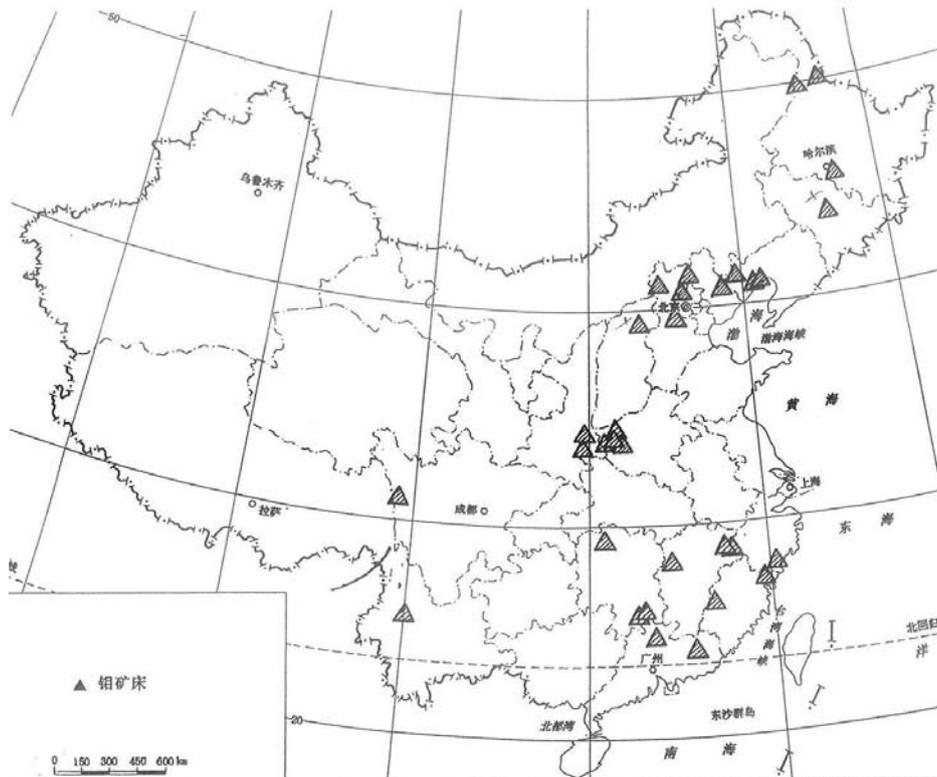


図 2. 中国の主なモリブデン鉱床分布図(出典；中国鉱情 1999 年)

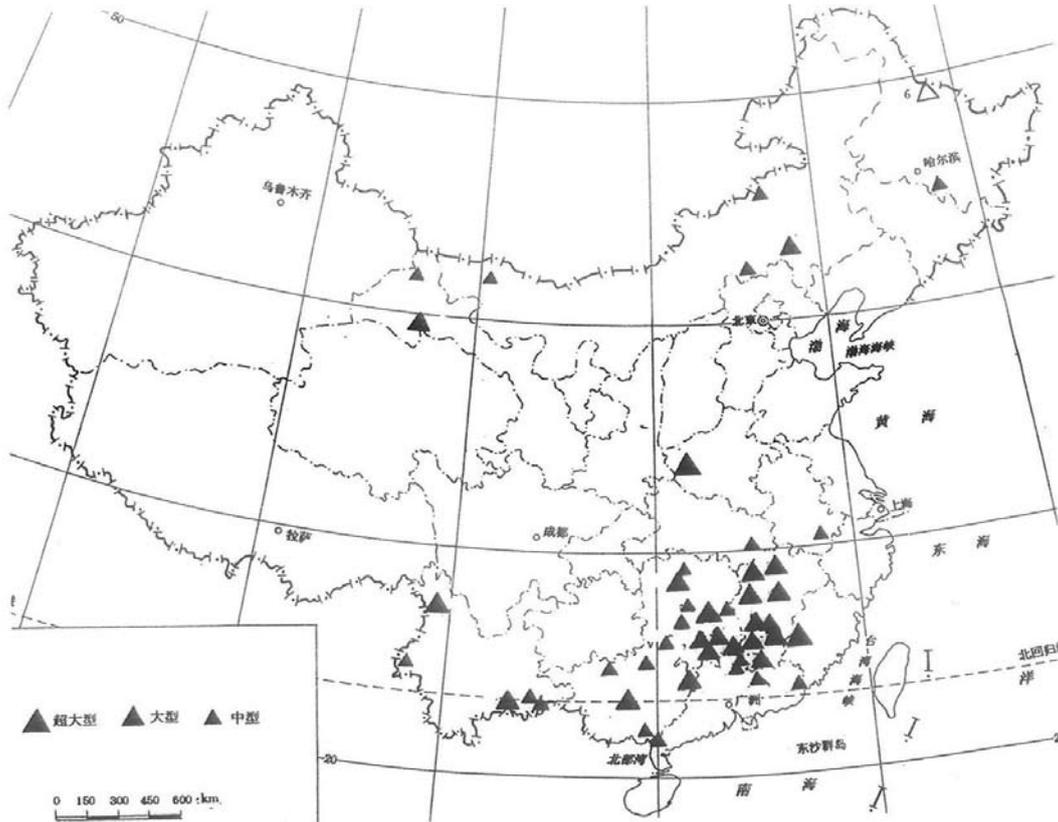


図3. 中国の主なタングステン鉱床分布図

5. 探鉱状況

国土資源部によれば、2011年、新規に石炭、鉄鉱、銅鉱、鉛鉱、アンチモン鉱、金鉱、銀鉱などの大規模鉱床 52カ所、中規模鉱床 80カ所を発見した。新鉱床は、主に内モンゴル、雲南省、新疆、河南省、山東省、甘粛省、吉林省及び湖北省などで発見された。鉱種別では、石炭 47カ所、金 22カ所、鉄鉱 18カ所、リン鉱 13カ所、モリブデン鉱 11カ所、銅鉱 6カ所、鉛鉱・亜鉛鉱・銀鉱それぞれ 5カ所、タングステン 4カ所、ポーキサイト・錫・アンチモン鉱・硫黄鉱・カリ塩それぞれ 1カ所である。また、新規に増加した埋蔵量は、石炭 575.1億t、鉄鉱石 23.8億t、銅 381.5万t、鉛 445.4t、亜鉛 883.3万t、ポーキサイト 2.0億t、タングステン 47.1万t、錫 27.2万t、モリブデン 323.5万t、アンチモン 28.9万t、金 743.6t、銀 26,803t、リン鉱 11.5億t、カリ塩 760.7万tである。

(2011年に報道された主な新鉱床)

浙江省北西部 含スカンジウム多金属鉱床(スカンジウム 70t、錫 7千t、ガリウム 400t等)

安徽省金寨県沙坪溝 モリブデン鉱床(金属量 220万t以上)

青海省柴達木盆地 銅・鉛・亜鉛鉱床(資源量 20万t)

広西チワン自治区佛子冲鉱山深部及び周辺 鉛亜鉛鉱床

藤県大黎一蒼梧社垌 タングステン・モリブデン・金・銀多金属鉱床

貴港龍頭山一龍山金鉱(レアアース 12.7万t、鉛亜鉛 15万tなど)

江西省武寧大湖塘鉱区 タングステン鉱床(資源量 106万t)

(参考)

中国の鉱床規模分類基準

鉱種	区分	埋蔵量(万 t)		
		大型	中型	小型
銅、鉛、亜鉛	金属量	≥50	10 以上 50 未満	10 未満
ボーキサイト	鉱石量	≥2000	500 以上 2000 未満	500 未満
モリブデン、アンチモン	金属量	≥10	1 以上 10 未満	1 未満
タングステン	WO ₃ 量	≥5	1 以上 5 未満	1 未満

6. 我が国との関係

希土類の輸出制限が強化される中、2011年5月20日より希土類元素含有量が10%以上の合金鉄が輸出量割当制度に組み込まれ、12月には「輸出暫定税率表」が改定され、ネオジム化合物などが新たに課税されることとなった。原料立地での安定的調達及びリスク分散を求め、昭和電工(株)が80%出資するネオジム磁石生産合弁会社である贛州昭日稀土新材料有限公司は7月、生産能力を2千t/年から3千t/年へ拡張した。また信越化学工業(株)は、100%出資で信越(長汀)化学技術有限公司を設立し、2012年1月より福建省龍岩市レアアース産業パークでの工場建設に着工した。2013年1月に生産開始の予定であり、年間生産能力は3千tである。

7. その他トピックス

米国、EU、メキシコは2009年、中国によるボーキサイト、マンガン、マグネシウム、亜鉛など9品目の原材料への輸出規制(輸出関税及び数量規制)を世界貿易機関(WTO)へ協定違反と提訴した。2011年7月、一審に当たる紛争処理小委員会は、輸出関税に関し協定違反と判断し、中国は上訴していたが、2012年1月30日に上級委員会は小委員会の判断を支持し、協定違反と報告した。

2012年3月13日、日本は米国及びEUと、中国によるレアアース、タングステン、モリブデンへの輸出規制(輸出関税、数量規制、最低輸出価格)に関し、中国へWTO協定に基づく協議を要請し、4月にジュネーブで協議を行った。中国は、環境及び資源保護の目的により輸出規制を行っている」と主張し、協議は不調に終わった。6月27日、日本は米国及びEUとともに、WTOに紛争処理小委員会設置を要請し、2013年夏に報告書が公表される見込みである。

(2012.7.20 北京事務所 土居正典)